

I. 南南協力支援評価：理論

評価対象	評価手段	評価項目	評価内容	情報入手手段	相手先
1. 理論	ロジカルフレームワーク	<p>適正技術の移転、援助資金の効率的な活用、新興援助国の育成、域内協力の推進を目的としたわが国の南南協力支援の日本のODA政策との整合性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ODA大綱（ODA大綱にある「基本理念」、「原則」、「重点分野」などとの整合性）と整合している ・ ODA中期政策と整合している ・ 国際的な援助政策に整合している ・ 協力実施国のニーズに合致している 	<p>南南協力支援は、日本のODA政策に合致しているのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ODA政策における南南協力支援に関する記述の確認 <p>国際会議において南南協力支援の重要性が確認されたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際会議における南南協力に関する議論 <p>南南協力は、協力実施国の政策に合致しているか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協力実施国における南南協力の位置付け 	<p>a. ODA大綱 b. ODA中期政策外務省</p> <p>a. 第二回アフリカ開発会議（TICAD II）報告書 b. 南南協力支援会合報告書</p> <p>a. 協力実施国の外交戦略 b. 協力実施国の域内戦略</p>	<p>外務省ホームページ</p> <p>JICA</p> <p>協力実施国</p>